



モリト株式会社

東証プライム 証券コード 9837

2022 年 11 月期 第3四半期決算概要

2022 年 10 月

MORITO

CONTENTS

1

会社概要

2

中長期方針

3

2022 年 11 月期 3Q 業績

4

2022 年 11 月期 3Q 事業の概況

5

事業トピックス

6

株主還元策

CONTENTS

1

2

3

4

5

6

会社概要

モリトグループの価値観

創業理念

積極・堅実

経営理念

パーツでつなぐ、あなたとつながる、未来につなげる

経営ビジョン

**存在価値を創造する、
あたらしい「モリトグループ」の実現**

会社概要

● 1908 年創業

- ・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
- ・その後、マジックテープ® など服飾の付属品、自動車内装部品等の販売を中心に拡大

● 製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

- ・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを一貫して手掛ける専門商社
- ・世界に 14 拠点展開

● 3 つの事業を展開

- ・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
- ・自社生産 30%、調達 70%ほどの構成



ハトメ



ホック



マジックテープ®

※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に取り付ける環状の金具



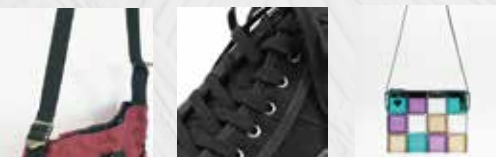
事業別詳細

アパレル関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ボタン



テープ ハトメ・靴紐 自社ブランド

<活用例>

カジュアルウェア・シューズ
スポーツウェア・シューズ
ワーキングウェア・シューズ
メディカルウェア、ベビーウェア
フォーマルウェア・シューズ、バッグ

プロダクト関連事業

<取扱い商品例>



マジックテープ® 樹脂パーツ インソール



ストラップ スケートボード・
スノーボード・
サーフィン 自社ブランド

<活用例>

インソール・シューケア商品
カメラ・PC ケース等映像機器関連商品、
サポーター、安全関連商品、教具・文具
スケートボード・サーフィン等
アクティブスポーツ関連商品

輸送関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ネット



エンブレム トランク
フロアボード ドアアーム
レスト

<活用例>

自動車内装部品
鉄道・新幹線内装部品
航空機内装部品

モリトの強み

● 3つの事業の柱で安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、赤字にならない安定した業績を維持。

● 多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

● 世界各地に広がるグローバルネットワーク

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

CONTENTS

1

2

3

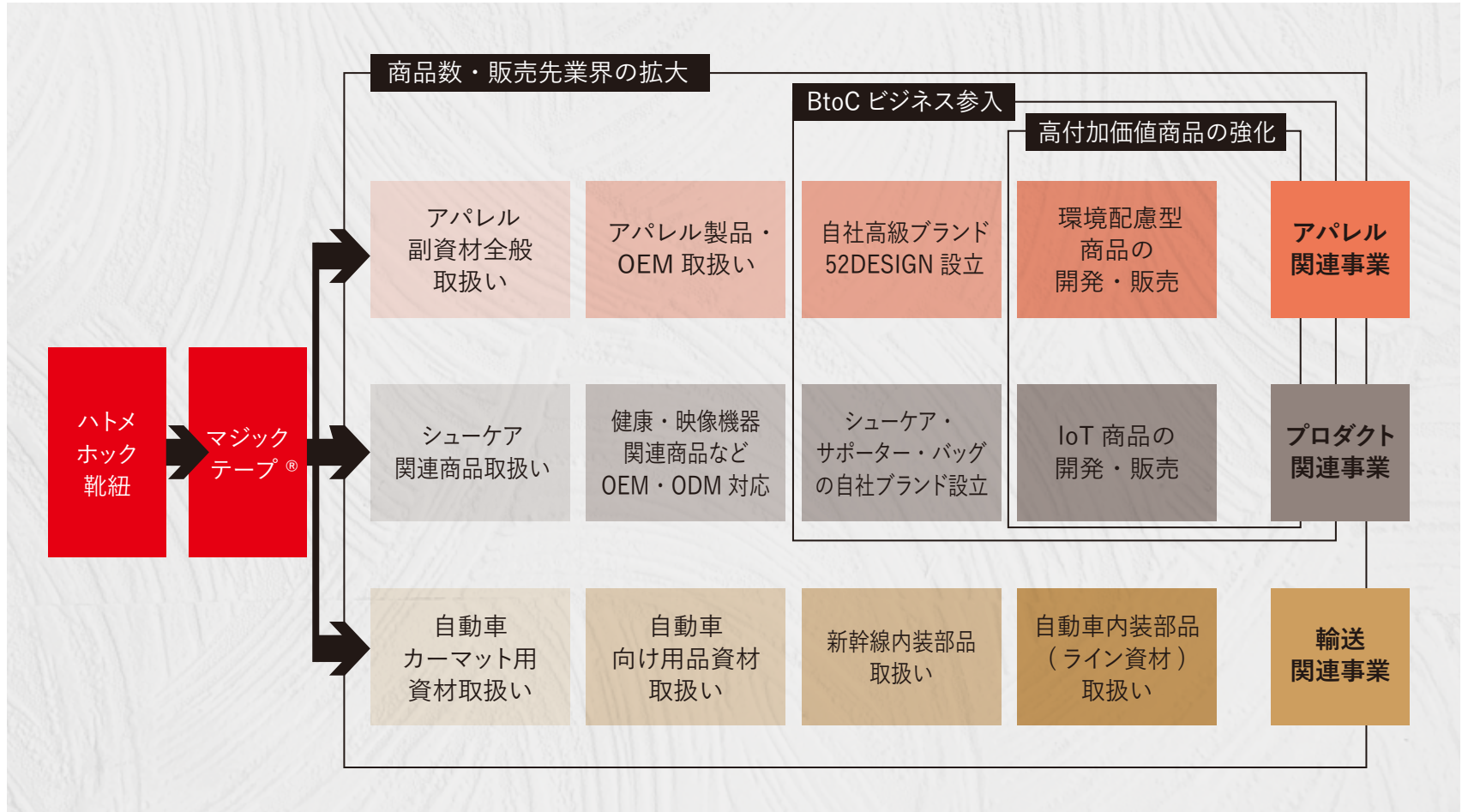
4

5

6

中長期方針

グローバルニッチトップを目指した過去の実績



グローバルニッチトップを目指した過去の実績

グローバル ネットワーク 構築

販売・調達

香港、アメリカ、オランダ、台湾、中国（上海）、タイ、ミャンマー、メキシコ

製造

中国（深セン）、アメリカ（ジョージア州）、ベトナム

M&A

スコヴィル（アメリカ）、マテックス（日本）、マニューバーライン（日本）

収益力強化

- ・ グローバル品質保証体制の構築
- ・ 自社物流拠点の設立
- ・ 持株会社体制への移行
- ・ 事業会社モリトジャパンの分割

管理体制の強化

- ・ ダイバーシティ・働き方改革
- ・ キャリア採用等人事戦略

中長期方針 モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける、グローバルニッチトップ企業

第8次
中期経営計画

事業戦略

- BtoC 市場への参入・強化
- 各市場のグローバルシェア No.1 へ
- 経営・製造・調達の現地化、新規拠点設立
- 製造会社への設備投資、生産効率化
- M&A の実施
- 高付加価値商品（安心・安全・健康・環境配慮の取り組み）

コーポレート戦略

- IT 技術を活用した製造・業務・営業活動支援
- 為替対策を含む、グループ会社の資金マネジメント
- SDGs を意識した企業経営

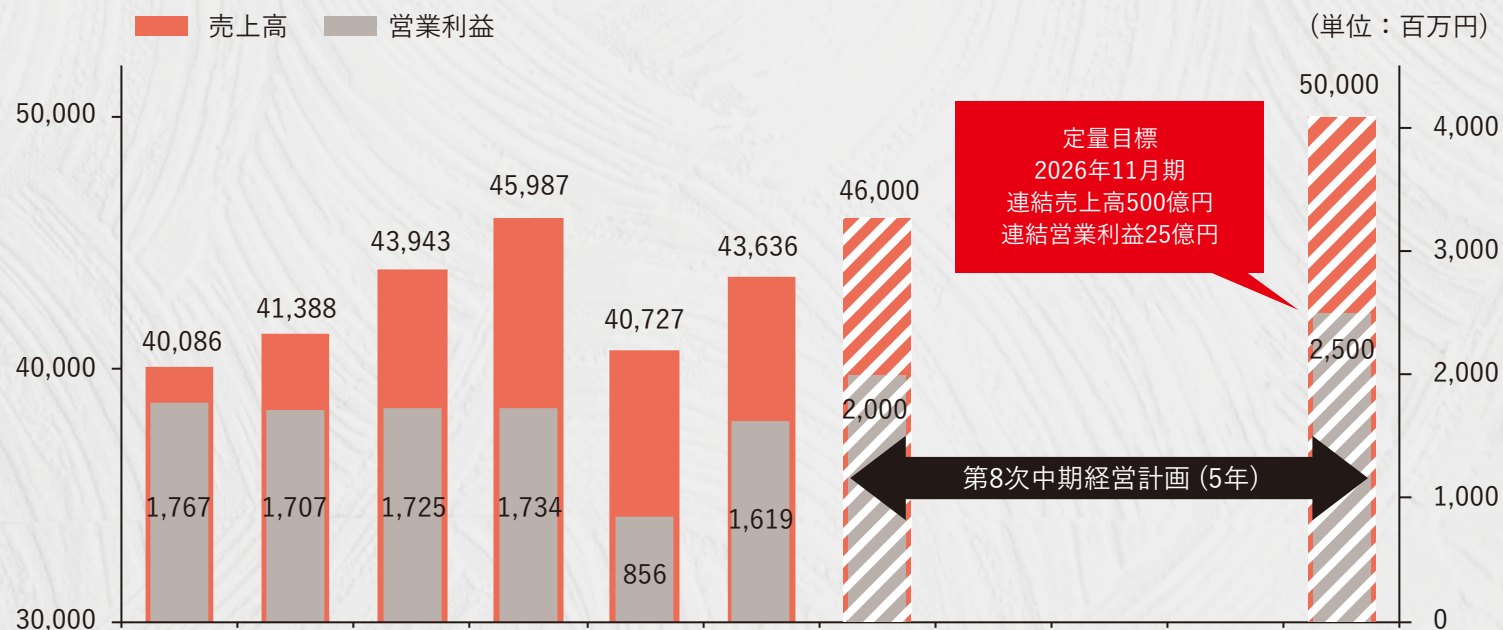
2020 年～
2021 年

コロナ禍における 事業体制構築

- 経費の見直し
- 収益性の強化
- 不採算事業の見直し

第 8 次中期経営計画

2022 年度～ 2026 年度で、売上高 500 億円、営業利益 25 億円を定量目標として定める。



CONTENTS

1

2

3

4

5

6

2022年11月期 3Q 業績

2022年11月期 3Q ハイライト

- 半導体不足による自動車メーカー減産、原材料の高騰、海外運送の遅れ、運送費の高騰の影響が継続
- メディカルウェア・作業服、スポーツ関連など、機能性に優れた付属品・製品が好調に推移
- 運送費などの経費見直しを継続
- 3Q 累計の売上高・営業利益・経常利益が、四半期開示開始以来最高

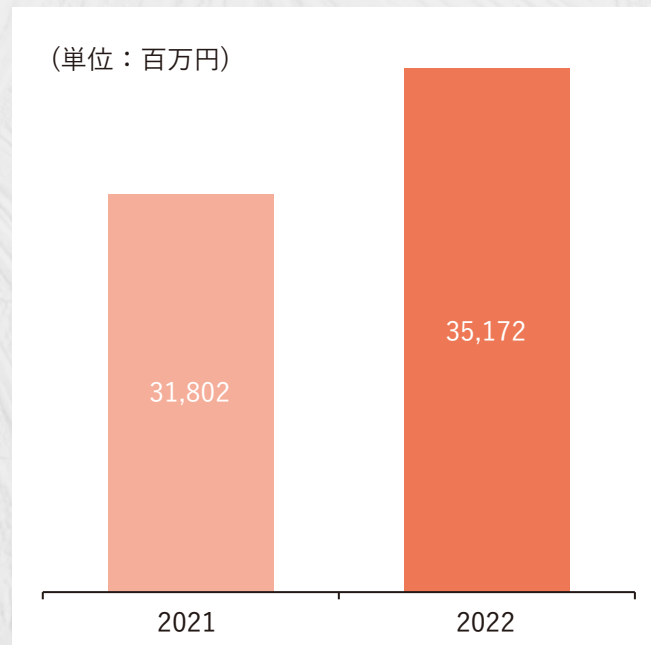
2022年11月期 3Q 通期業績サマリー

(単位：百万円)

	前期	当期	増減	前期比
売上高	31,802	35,172	+3,370	+10.6%
売上総利益	8,272	9,135	+863	+10.4%
売上総利益率	26.0%	26.0%		
経費	7,168	7,549	+381	+5.3%
経費率	22.5%	21.5%		
営業利益	1,104	1,586	+482	+43.7%
営業利益率	3.5%	4.5%		
経常利益	1,259	1,747	+488	+38.7%
経常利益率	4.0%	5.0%		
当期純利益	757	1,242	+485	+64.1%
当期純利益率	2.4%	3.5%		

2022年11月期 3Q 売上高

売上高：35,172 百万円 前年同期比：+3,370 百万円（+10.6%）
半導体不足により輸送関連事業は影響を受けつつも、国内外でアパレル関連事業を中心に伸長。



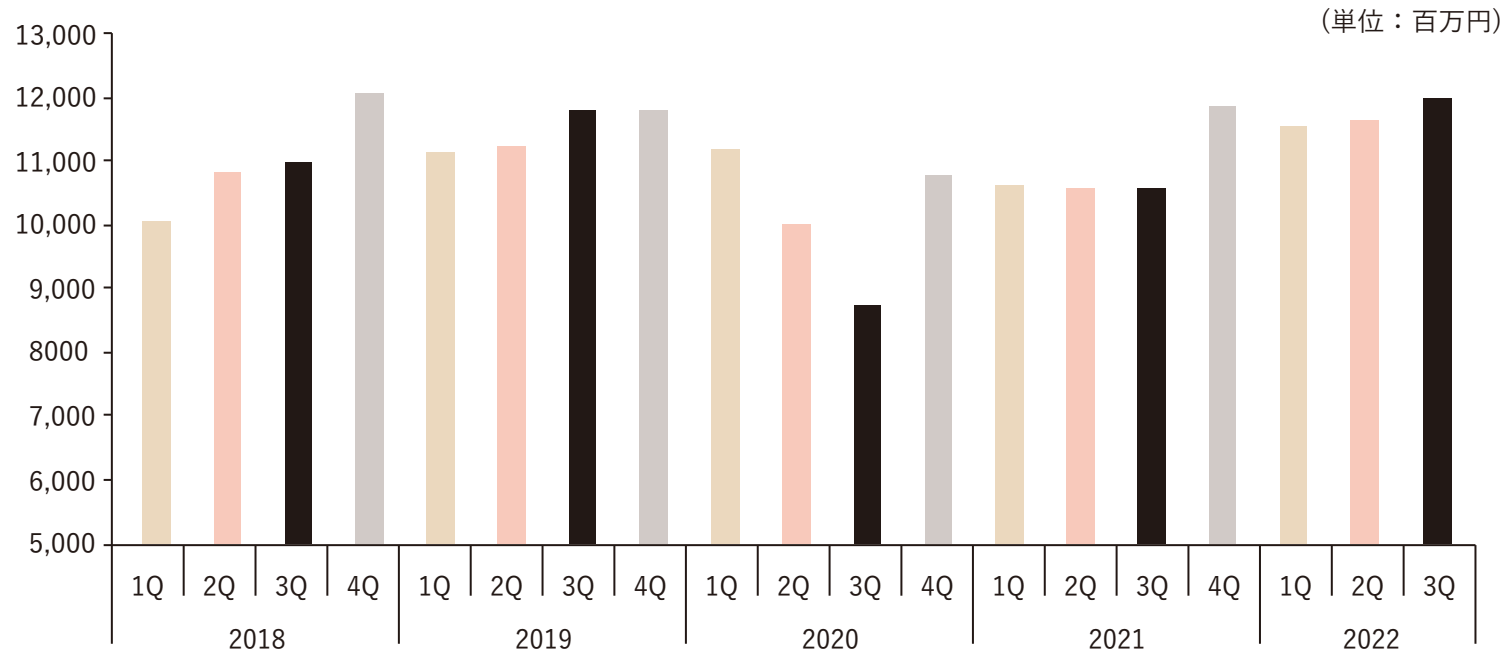
日 本 24,139 百万円
前年同期比 +2,172 百万円（+9.9%）

アジア 6,277 百万円
前年同期比 +314 百万円（+5.3%）

欧 米 4,755 百万円
前年同期比 +884 百万円（+22.8%）

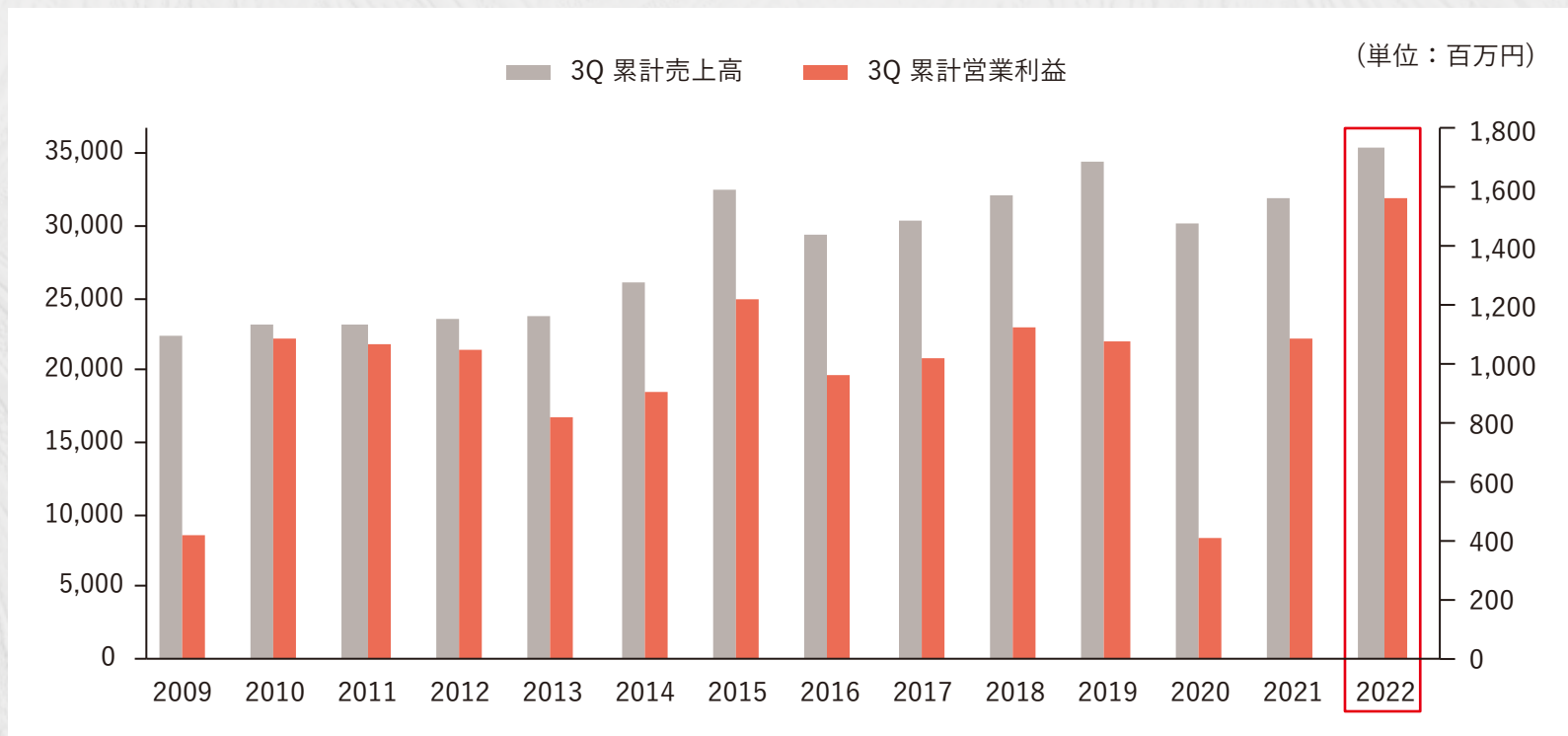
2022年11月期 3Q 四半期別売上高の推移

3Qの実績としても、新型コロナウイルス流行前の2019年を上回る。



2022年11月期 3Q 第3四半期売上高・営業利益の推移

3Q累計実績としては、2022年3Qの売上高・営業利益が四半期開示開始以来最高を記録。

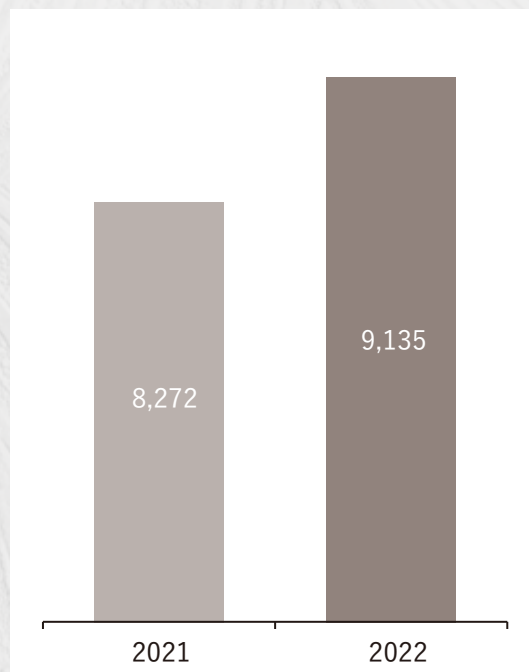


2022年11月期 3Q 売上総利益

売上総利益：9,135 百万円
売上高増加により増加。

前年同期比：+863 百万円（+10.4%）

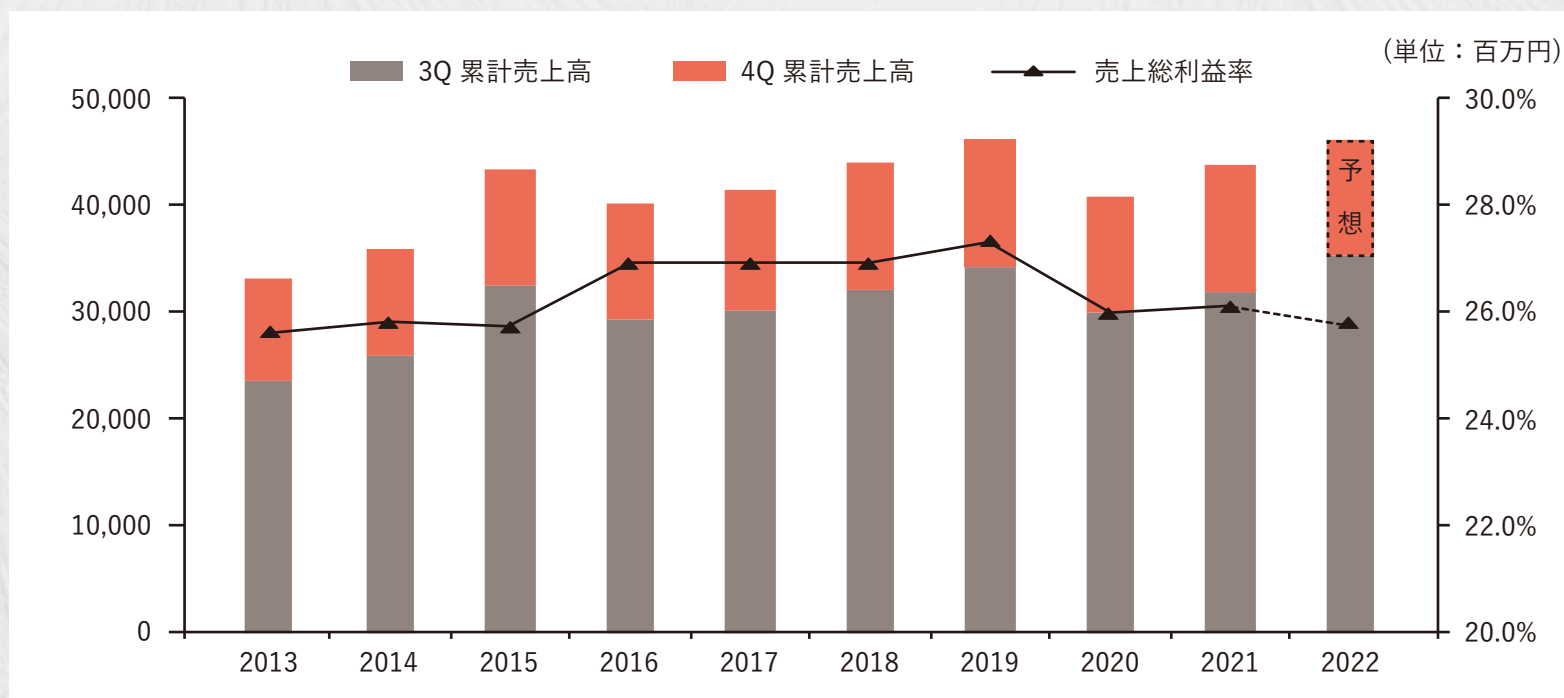
（単位：百万円）



	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	31,802	35,172	+3,370	+10.6%
売上総利益	8,272	9,135	+863	+10.4%
売上総利益率	26.0%	26.0%		
経 費	7,168	7,549	+381	+5.3%
営業利益	1,104	1,586	+482	+43.7%
経常利益	1,259	1,747	+488	+38.7%
当期純利益	757	1,242	+485	+64.1%

2022年11月期 3Q 第3四半期売上高・売上総利益率の推移

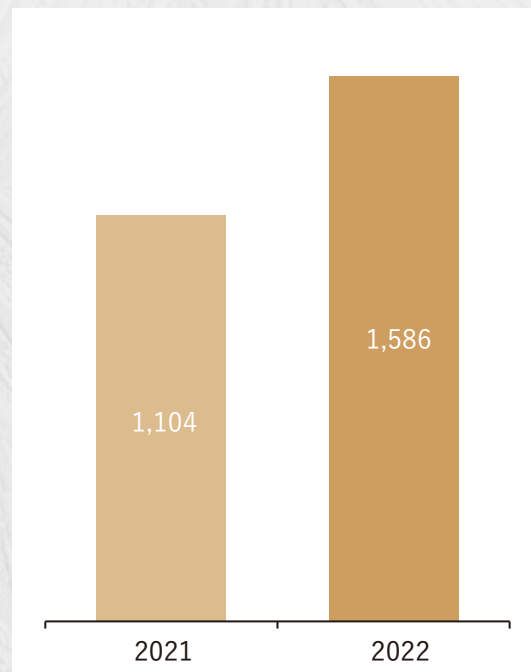
原材料価格の高騰、円安による仕入れ価格の増加の影響を受け、売上総利益率は昨年と同水準。今後も原材料価格・為替の変動は懸念材料。



2022年11月期 3Q 営業利益

営業利益：1,586 百万円 前年同期比：+482 百万円（+43.7%）
 売上総利益増加、経費率の改善。

（単位：百万円）



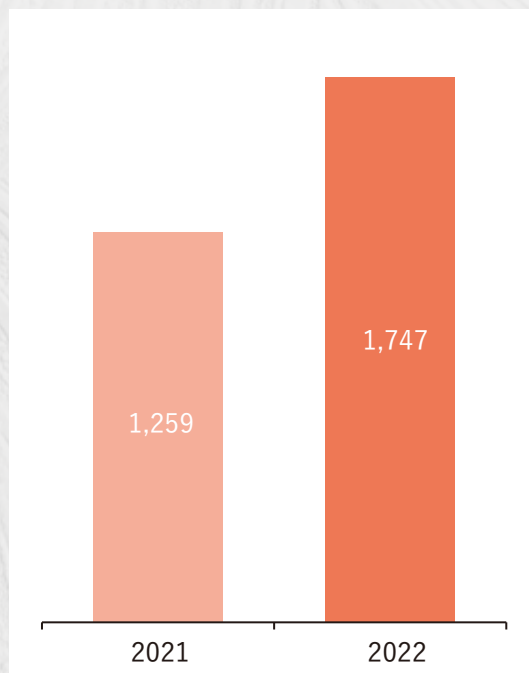
	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	31,802	35,172	+3,370	+10.6%
売上総利益	8,272	9,135	+863	+10.4%
売上総利益率	26.0%	26.0%		
経 費	7,168	7,549	+381	+5.3%
経 費 率	22.5%	21.5%		
営業利益	1,104	1,586	+482	+43.7%
営業総利益率	3.5%	4.5%		
経常利益	1,259	1,747	+488	+38.7%
当期純利益	757	1,242	+485	+64.1%

2022年11月期 3Q 経常利益

経常利益：1,747 百万円
営業利益の増加。

前年同期比：+488 百万円（+38.7%）

（単位：百万円）



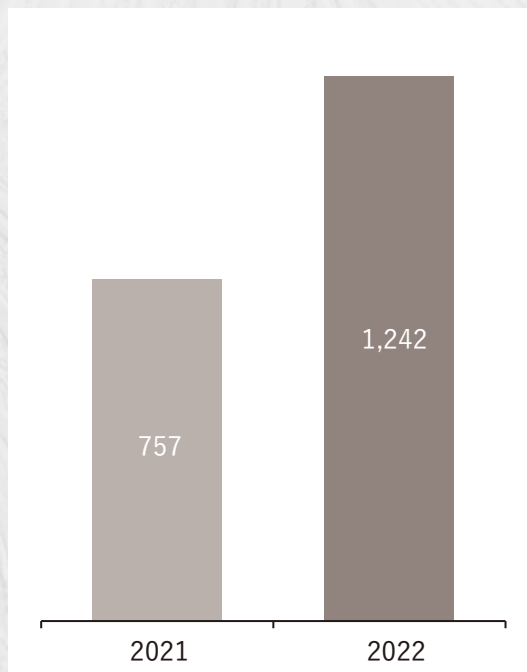
	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	31,802	35,172	+3,370	+10.6%
売上総利益	8,272	9,135	+863	+10.4%
経 費	7,168	7,549	+381	+5.3%
営業利益	1,104	1,586	+482	+43.7%
営業利益率	3.5%	4.5%		
経常利益	1,259	1,747	+488	+38.7%
経常利益率	4.0%	5.0%		
当期純利益	757	1,242	+485	+64.1%
当期純利益率	2.4%	3.5%		

2022年11月期 3Q 当期純利益

当期純利益：1,242 百万円
経常利益の増加。

前年同期比：+485 百万円（+64.1%）

（単位：百万円）



	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	31,802	35,172	+3,370	+10.6%
売上総利益	8,272	9,135	+863	+10.4%
経 費	7,168	7,549	+381	+5.3%
営業利益	1,104	1,586	+482	+43.7%
経常利益	1,259	1,747	+488	+38.7%
経常利益率	4.0%	5.0%		
当期純利益	757	1,242	+485	+64.1%
当期純利益率	2.4%	3.5%		

2022年11月期 3Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021 4Q	2022 3Q
資産の部		
流動資産	26,957	28,974 (+2,017)
固定資産	18,980	19,473 (+493)
資産 合計	45,938	48,448 (+2,510)

	2021 4Q	2022 3Q
負債の部		
流動負債	7,507	8,553 (+1,046)
固定負債	4,515	4,245 (▲270)
負債合計	12,023	12,799 (+776)
純資産の部		
株主資本	31,477	31,428 (▲49)
その他の 包括利益累計額	2,381	4,165 (+1,784)
純資産合計	33,914	35,649 (+1,735)
負債純資産 合計	45,938	48,448 (+2,510)

自己資本比率 73.5% (2021年4Q 73.7%)

CONTENTS

1

2

3

4

5

6

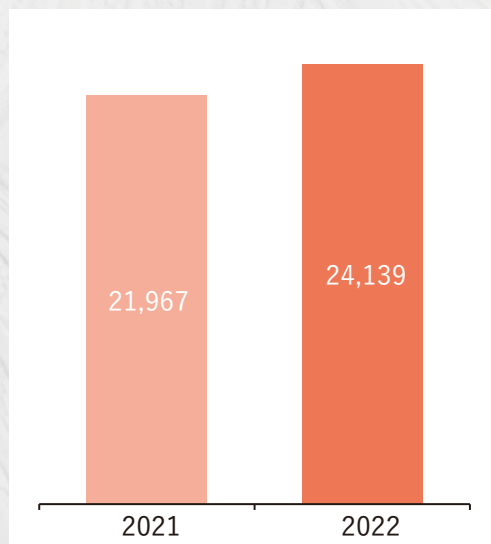
4

2022年11月期 3Q 事業の概況

2022年11月期 3Q 地域別売上高(地域別詳細)

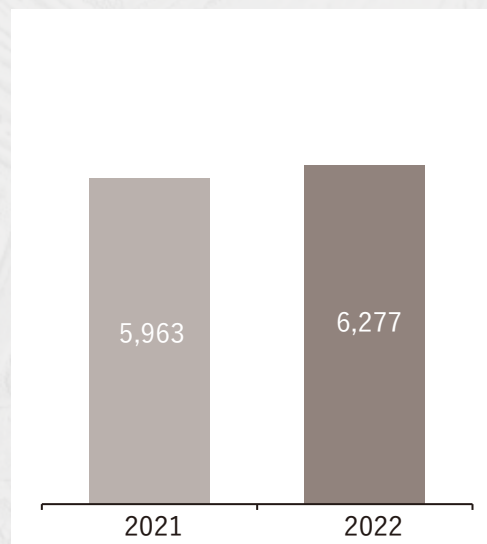
(単位：百万円)

日 本



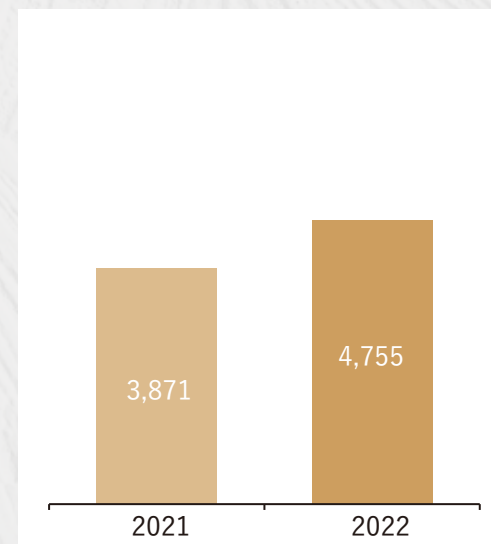
前年同期比 +2,172百万円
(+9.9%) ↑

アジア



前年同期比 +314百万円
(+5.3%) ↑

欧 米



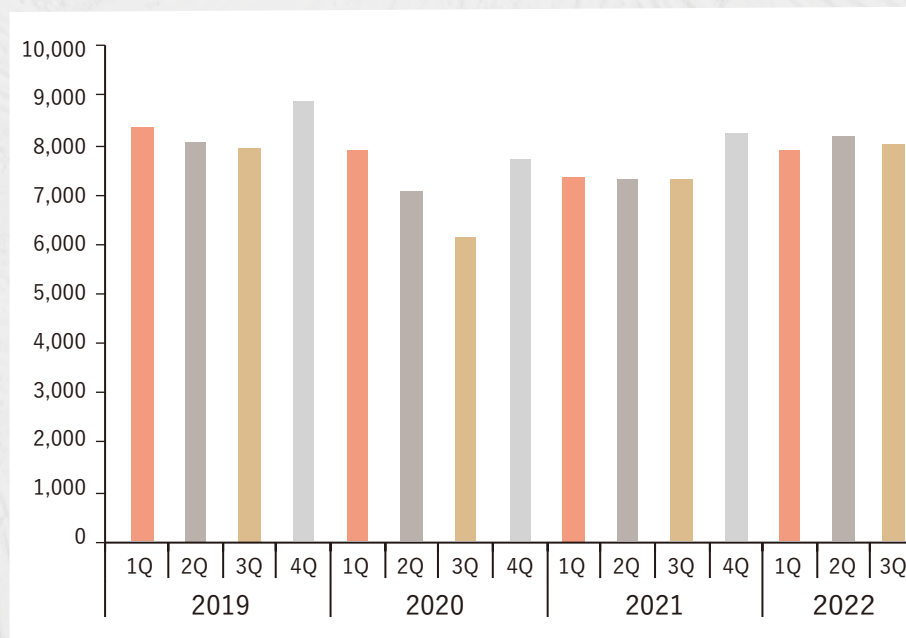
前年同期比 +884百万円
(+22.8%) ↑

2022年11月期 3Q 地域別売上高(日本)

アパレル関連事業が堅調に推移。半導体不足の影響が継続している一方、輸送関連事業では日系自動車メーカーのマイナーチェンジモデルの内装部品が好調。

(単位：百万円)

- 欧米向けの作業服・メディカルウェア向け付属品が増加
- カジュアルウェア向け付属品が増加
- スポーツウェア向け付属品が増加
- 医療機器関連商品が増加
- 均一価格小売店向け商品が増加
- 建築現場向け安全関連商品が増加
- スノーボード・サーフィン・アウトドア関連商品が増加
- 自動車内装部品が増加

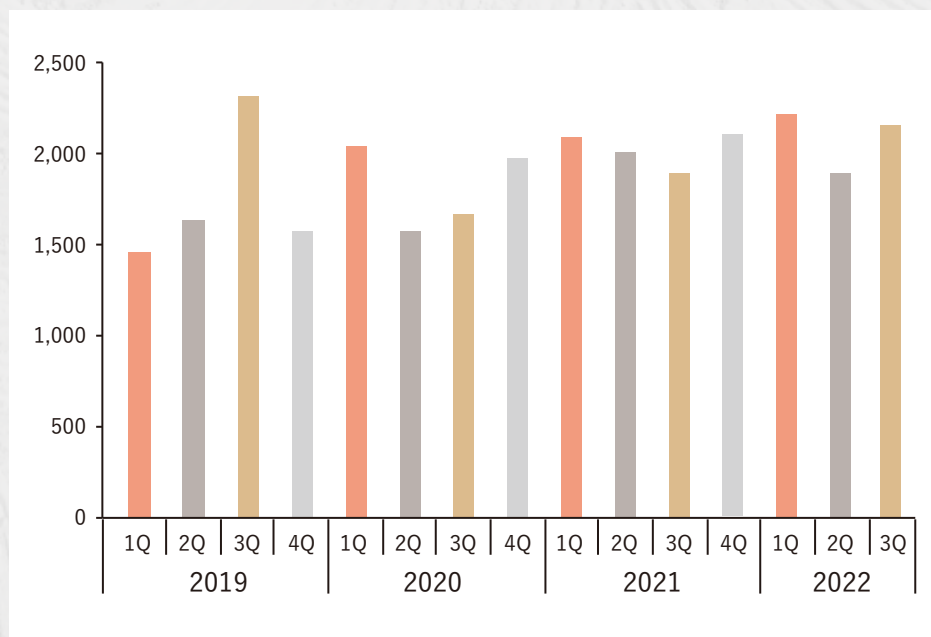


2022年11月期 3Q 地域別売上高（アジア）

中国・香港におけるアパレル関連事業が引き続き好調。
輸送関連事業はメーカー工場間の生産移管に伴う調整により減少。

（単位：百万円）

- 中国での日系自動車メーカー向け
自動車内装部品が減少
- 中国・香港での欧米向け作業服関連
付属品が増加
- 中国・香港でのカジュアルウェア向け
付属品が増加
- ベトナムでのスポーツシューズ向け
付属品が増加

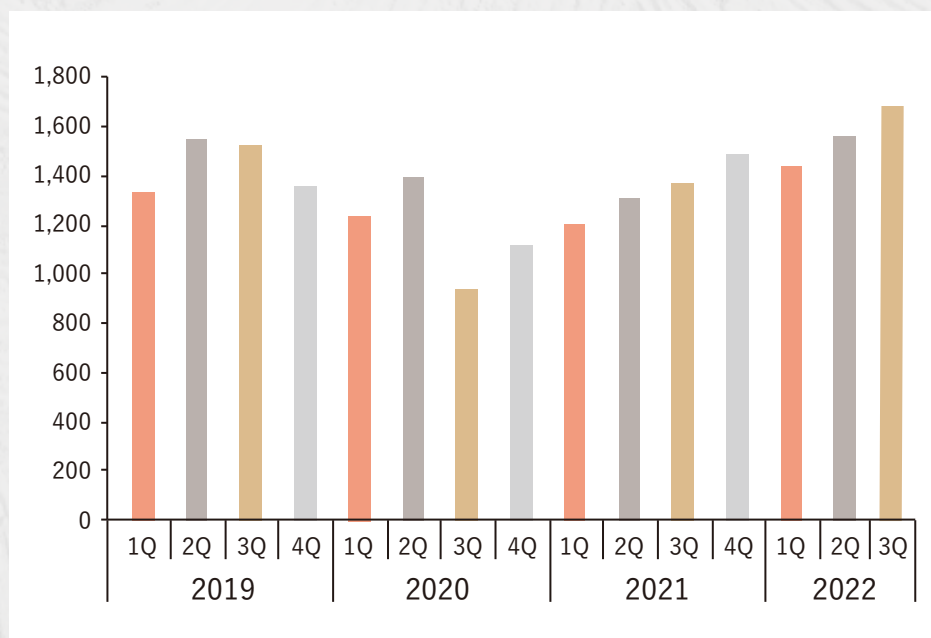


2022年11月期 3Q 地域別売上高（欧米）

作業服・カジュアルウェアなどを中心にアパレル関連事業が堅調に推移。
輸送関連事業においては、半導体不足の影響が継続中。

（単位：百万円）

- 作業服向け付属品が増加
- カジュアルウェア向け付属品が増加
- 高級ダウンウェア向け付属品が増加
- 日系自動車メーカー向け自動車内装部品が減少



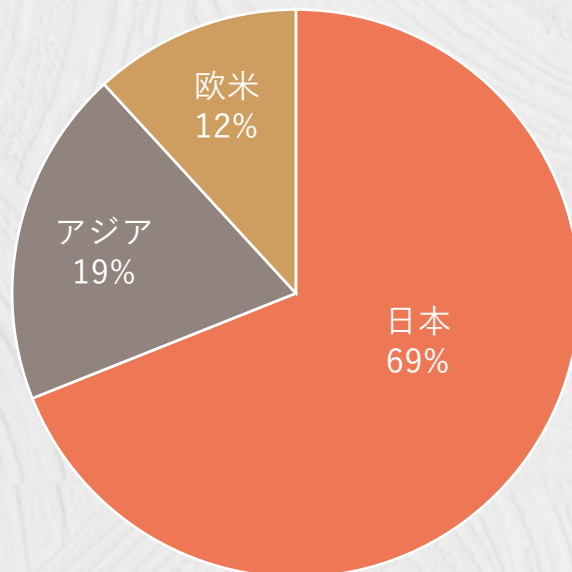
2022年11月期 3Q 地域別売上高（四半期別）

2022年度 実績								(単位：百万円)	
	1 Q	2Q	3Q	3Q 合計	構成比	増減額	増減率		
日本	7,912	8,196	8,031	24,139	68.6%	+2,172	+9.9%		
アジア	2,212	1,885	2,180	6,277	17.8%	+314	+5.3%		
欧米	1,436	1,564	1,755	4,755	13.5%	+884	+22.8%		
合計	11,561	11,646	11,965	35,172	100.0%	+3,370	+10.6%		

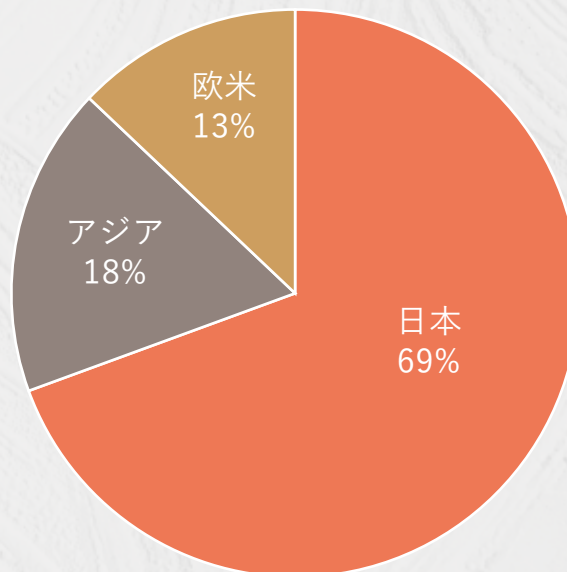
2021年度 実績									
	1 Q	2Q	3Q	3Q 合計	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	7,347	7,291	7,329	21,967	8,262	30,229	69.3%	+1,419	+4.9%
アジア	2,083	1,996	1,884	5,963	2,091	8,054	18.5%	+829	+11.5%
欧米	1,198	1,309	1,364	3,871	1,482	5,353	12.3%	+662	+14.1%
合計	10,629	10,596	10,577	31,802	11,834	43,636	100.0%	+2,909	+7.1%

2022年11月期 3Q 地域別 売上構成

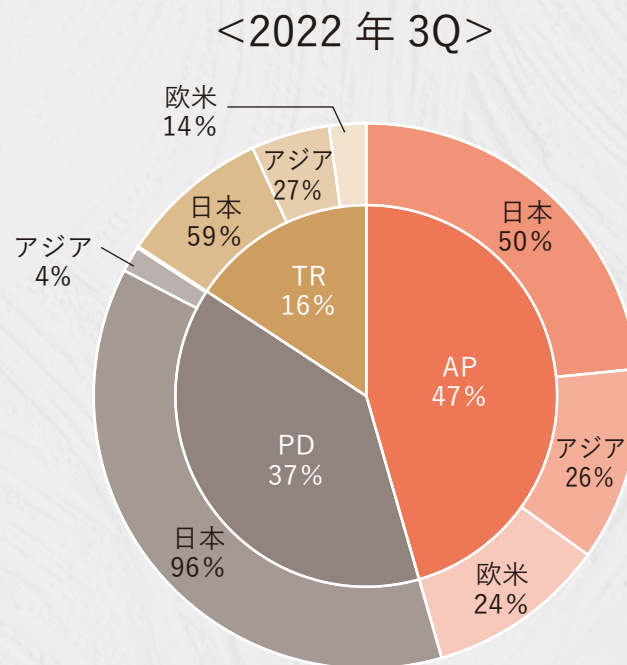
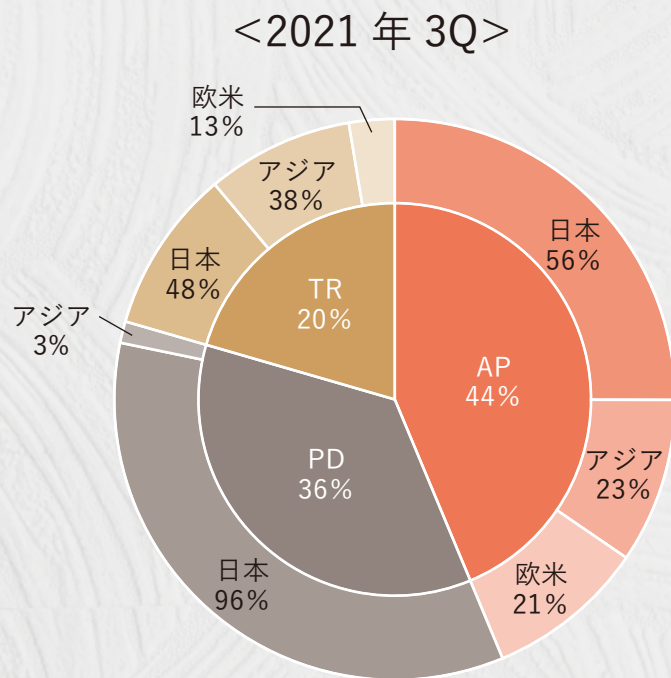
<2021 年 3Q>



<2022 年 3Q>



2022年11月期 3Q 地域別 × 事業別 売上構成



AP : アパレル PD : プロダクト TR:輸送

2022年11月期 3Q 計画進捗について

	2022年11月期 3Q実績	2022年11月期 業績予想	進捗度
売上高	35,172	46,000	76.5%
営業利益	1,586	2,000	79.3%
営業利益率	4.5%	3.6%	
経常利益	1,747	2,100	83.2%
経常利益率	5.0%	4.0%	
当期純利益	1,242	1,550	80.1%
当期純利益率	3.5%	2.4%	

CONTENTS

1

2

3

4

5

6

事業のトピックス

環境への取り組み「Rideeco」

これまで行ってきた環境配慮型の商品開発等の取り組み「C.O.R.E.」のプロジェクトのコンセプトを拡張すべく、「Rideeco」（リデコ）へ改名。「Rideeco」は、RIDE FOR ECO を意味し、RIDE はモリトグループの思いを表す頭文字。我々だけでなく、様々な業種・業界の方と協力し合うことで、持続可能な社会の実現を目指した取り組みを実施。

- Relation** 新たな価値の創造に向かって様々な業種、業界と関係性を構築し力を合わせる
- Initiative** 傍観者ではなく、自らが持続可能な社会に向かって取り組む
- Devote** 短期的な利潤の追求だけではなく、未来の社会のために自らの知恵を捧げる
- Energy** そして根気よく、力を込めて活動する



今年 10 月に展示会「サステナブル ファッション EXPO 秋」に大規模出展の予定。
※詳細はこちら

スポーツ・アウトドア関連商品が堅調に推移

モリトグループの商品の品質、納期、グローバルな企画力などが評価され、国内外の大手スポーツブランドから、付属品や完成品などの受注を獲得。また、グループ会社キャンバスが手掛けるアウトドア関連商品を中心としたブランド「POLeR®」も伸長。



「POLeR®」商品



MORITO SCOVILL AMERICAS 設立220周年

2014年にM&Aを実施した、グループ会社 MORITO SCOVILL AMERICAS（アメリカ・ジョージア州）が、今年8月に設立220周年。ジーンズボタン・リベットの生産から事業を拡大してきた同社は、現在、心電図検査に使用されるパッチ部分の部品や医療ガウン・作業服用のホック等を生産するエッセンシャルカンパニー。2022年～2024年度に設備投資を実施し、生産効率化を目指す。



東京ヴェルディ女子ホッケーチームとの協同イベント開催

8月2日（パーツの日）に、ホッケーを通して楽しくモリトの製品である「身の回りにあるパーツ」に触れていただくことをコンセプトに、小学生向け体験イベントを開催。東京ヴェルディ女子ホッケーチームの廃棄予定のユニフォームとモリトのパーツを使った小物入れづくりや、マジックテープ®を使ったゲーム、ホッケー体験などを実施。

※イベントレポートはこちら



※「マジックテープ®」は株式会社クラレの登録商標です。

均一価格小売店向け 新商品

均一価格小売店向けに、新たな可能性のある新商品として、国内生産の再生紙を使った製品・陶磁器製品が登場。



「peacepiece®」

広島市の平和記念公園に毎年捧げられる折り鶴を使用した再生紙。便せん・ポチ袋など「人から人へ贈るもの」をコンセプトに、今後も商品を展開予定。



「瀬戸焼® 豆皿」

愛知県瀬戸市で生産される陶磁器、瀬戸焼®の豆皿。1つ1つ個性のある色合いや模様は、時間をかけて変化するため、長い間繰り返し使うことで、楽しむことができる商品。

※「瀬戸焼®」は愛知県陶磁器工業協同組合、瀬戸陶磁器卸商業協同組合の登録商標です。

CONTENTS

1

2

3

4

5

6

株主還元策

利益配分に関する基本方針

継続的配当の
実現

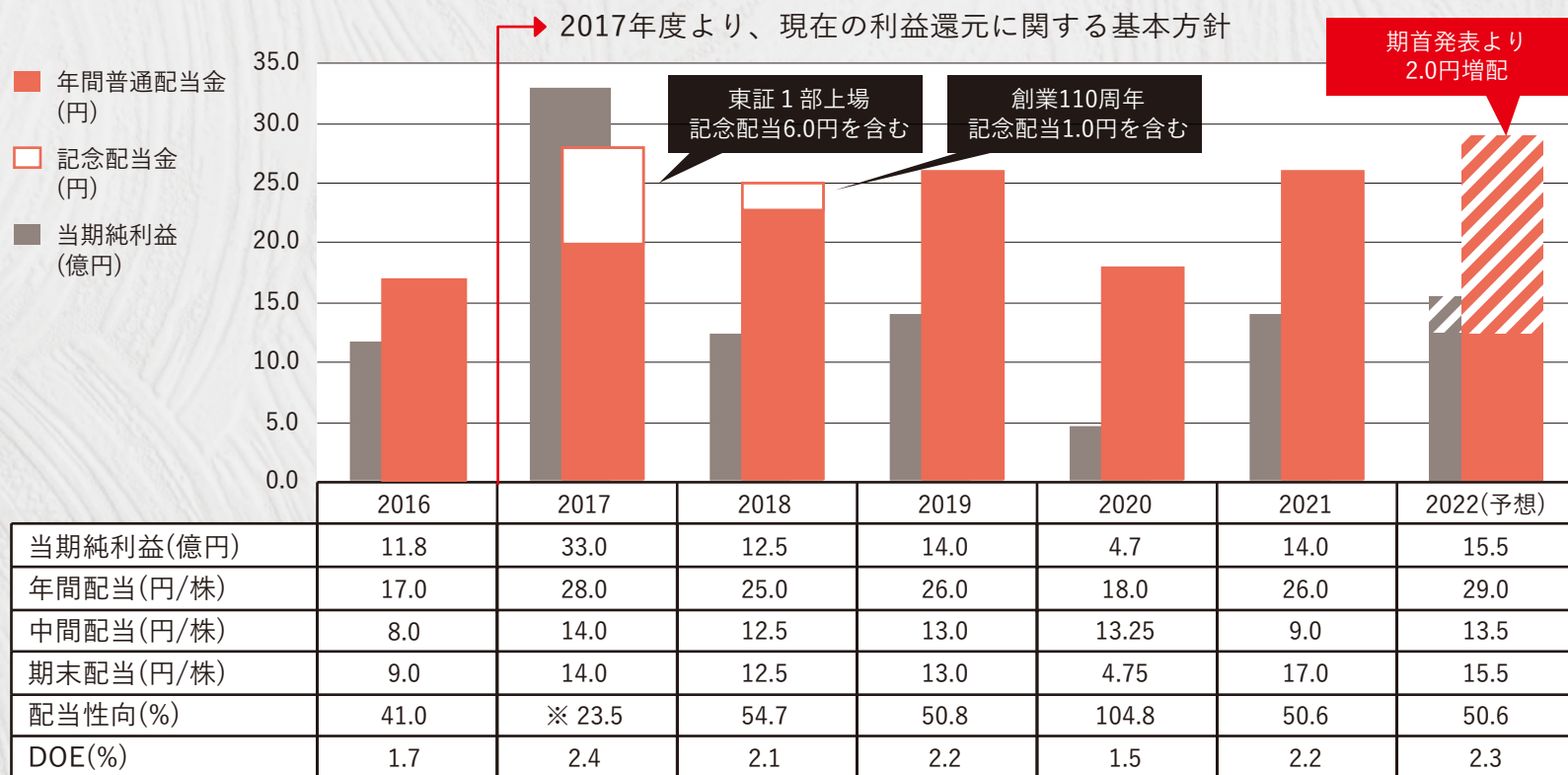
業績状況等により
親会社株主に帰属する
当期純利益に対する

配当性向は
50%以上を
基準※

連結自己資本配当率
DOE1.5%を
維持

※ 特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

配当金・配当性向・DOE の推移



※ 2017年11月期の配当性向に関して、表中では23.5%となっておりますが、記念配当を除いた普通配当22円と特別な損益等を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を基準とすると配当性向は50%以上となります。

コーポレートブランド刷新に伴う記念品進呈について

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、
2022年6月1日に刷新した当社のコーポレートロゴおよびタグラインを株主の皆さまにご覧いただくことを目的として、記念品を進呈。

進呈の対象となる株主様

2022年11月30日時点の当社株主名簿に記載または
記録された100株(1単位)以上を保有されている株主様

進呈の内容

保有株式数100株(1単位)以上の株主様お一人につき、
新しいモリトグループのコーポレートロゴ・タグライン入りの
クオカード(500円分1枚)

進呈の時期

2023年2月初旬(定時株主総会の招集ご通知と併せた発送を予定)

The logo for MORITO, featuring the word "MORITO" in a bold, black, sans-serif typeface. The letters are widely spaced, giving it a clean and modern appearance.

あたりまえに、新しさ。

本資料のお取り扱いについて

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社 社長室

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4

TEL：06-6252-3559 ／ FAX：06-6252-3483

E-mail：ir@morito.co.jp

MORITO

あたりまえに、新しさ。